

# 館報

Mar. 2004

No. 54

## The Yokohama National University Library Bulletin

### 目次

長持ちすること (椿龍哉).....	1
中国図書館見学記ー北京師範大学と華東師範大学を訪問してー (小池正利) .....	3
教官寄贈図書リスト .....	5
平成14年度購入主要コレクション等 .....	7
図書館に関する会議・主要日誌・職員の動向 .....	7
図書館からのお知らせ .....	8

## 長持ちすること

椿 龍 哉

### ■長生橋

石川県七尾市を流れる御祓川（みそぎがわ）に日本で初めてのプレストレストコンクリート橋・長生橋（ちょうせいばし）が架けられたのは1951年12月と言われる。橋長11.6m、桁長3.84mの3径間単純合成床版橋である。この橋の桁はプレテンション桁で、両側から強く引っ張った高強度の鋼線をコンクリートで固めて作る。コンクリートが固まった後に鋼線をはなすことにより、コンクリートが予め圧縮されている（プレストレスト）ため、ひび割れが発生しにくく、耐久性がよいと言われている。プレストレスが入った桁の部分の断面は逆Tの⊥型で高さは20cm、下の幅は20.8cmで、これらが密着して並べられその上にさらにコンクリートが打ち込まれ、床版全体の厚さは30cmである。

架けられてから約50年間使われてきたが、1997年に都市整備計画の対象となり、新しい構造形式の橋に架け替えるため、2001年に解体されている。もとの長生橋は市内の公園に復元され残されているという。

次の写真は桁の断面であるが、予めコンクリートを圧縮するために使われた鋼材(写真中の白い小さな丸)



が上部に1本、下部に2段6列12本あるのがわかる。

長生橋は、海に近い耐久性の面で厳しい環境のもとで長い間供用されたにもかかわらず、解体時のコンクリートや鋼材は健全で、コンクリートの圧縮強度は60N/

mm<sup>2</sup>以上、塩害や中性化による劣化もないと報告され、鋼材の錆も見られない。骨材（砂利）と周辺のモルタル（セメント＋砂＋水）の間に空隙が見られないことから、ブリーディング（コンクリートの練混ぜ水の一部が遊離して上昇すること）がほとんどない良質なコンクリートが用いられたようである。

### ■小樽港防波堤

当時、北海道庁技師を兼務していた廣井勇（ひろい いさみ）は延長約1280m、幅約7.3m、最大水深約14mの防波堤を設計し、工事を指揮した。このような細い幅のものは当時世界でも類がなかったと言われている。1897年に建設が始まり、3556mの全体が完成したのは1921年である。コンクリートブロック積みの堤防である。用いられたコンクリートはセメント、火山灰、砂、砂利、碎石を混ぜ合わせたもので、水とセメントの比率は40%程度の硬練りコンクリートである。高さ30cmずつ人力で突き固め、締め固めと水量の管理を入念に行ったようである。完成以来、コンクリートの強度試験が続けられており、10年ほど前に行われた総合的な評価では防波堤のコンクリートは表層から5～10cm程度までは海水の影響を受けているが、内部のコンクリートは現在も健全な状態にあるとされている。

堤防の天端のコンクリートは骨材が露出したり小さな穴があいていたりするが、まだまだ大丈夫という様子を示している。

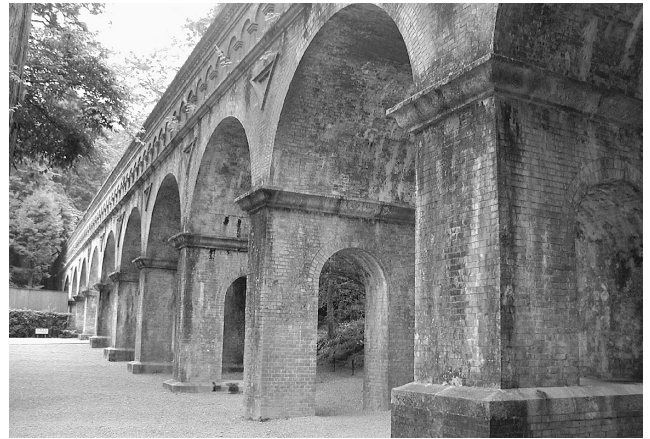


### ■南禅寺水路閣

田辺朔郎（たなべさくろう）の学生時代の卒業論文「琵琶湖疎水工事の計画」から始まった琵琶湖疎水は、23歳の技師田辺朔郎を工事担当者として1885年に起工され、1890年に竣工した。疎水に関連して、疏水の落差を利用した日本で最初の水力発電事業、全長約11.1kmの疏水の一部に掘られた延長2436mの当時日本一長いトンネル、長等山第一隧道、電気動力によって蹴上舟溜と南禅寺舟溜との間、長さ582m、勾配15分の1の斜面を船が台車に載せられて上下するインクラインと呼ばれる傾斜鉄道などができた。

京都の南禅寺の中にある水路閣はこの疎水事業の一環として施工された水路橋で、1887年起工、1890年竣工、延長93m、幅4m、水路幅2.4mの煉瓦造りのアーチ構造である。アーチは上からの荷重により内部に圧

縮力が作用するため、引張に弱い石材やコンクリートなどに適している。西欧技術が導入されて間もない当時、日本人のみの手で設計・施工されたものである。1996年に国の史跡に指定されている。水路閣の上の水路には今も水が流れている。



### ■ポン・ヌフ

国外の例の一つ。セーヌ河に架かる、新しい橋という意味の名の橋である。現在では名前とは異なり、セーヌ河の32の橋の中では最も古い橋である。フランス語に「ポン・ヌフのように頑丈だ」という言葉があるそうで、完成以来400年にわたり今も使われている。工事が始まったのは1578年、完成したのは1604年である。

当時のヨーロッパの多くの橋と同様、石造りのアーチ橋で、橋長229m、幅20mである。アーチの起源はメソポタミアと言われ、やがてローマ時代にニームの水道橋ポン・デュ・ガールなど多くのアーチ橋が作られた。



大学図書館、情報のインフラ、地域社会とのつながり、というようなことを連想しながら、思いつくままに建設分野の構造物を並べてみた。

（写真：筆者撮影）

（つばき たつや 工学研究院教授）

# 中国図書館見学記

## —北京師範大学と華東師範大学を訪問して—

小池 正利

平成15年12月7日より13日まで、経理部契約室契約第一係長の三浦法長氏、総務部企画課企画調査係の北沢拓也氏、及び私の3名は、本学の「国際交流基金等による事務官海外派遣事業」で中国に行つてまいりました。渡航の目的は、本学と学術交流協定を締結している北京師範大学と華東師範大学（上海）を公式訪問することでした。また、非公式で清華大学と上海交通大学にも訪問してまいりました。

今回は、はなはだ簡単ではあるのですが、公式訪問した2つの大学について、図書館見学記をまとめてみたいと思います。

### 1. 北京師範大学

北京師範大学は、1902年に設立された、中国でもっとも歴史の長い大学の1つです。「師範大学」という名が示すとおり、設立当初は教員育成を目的としていましたが、1980年代以降に方針転換を図った結果、現在では27学部を擁する、中国でも有数の総合大学になりました。

今回の訪問では、外事処の韓冰副処長と政治学と国際関係学院の劉小林教授に大学全体のお話を、また王琮副館長に図書館に関するお話を伺った後、中央図書館の新館を見学させていただきました。



中央図書館は、1959年に建てられた旧館と、1989年に建てられた新館の2つの建物から構成されていて、両館を合わせた総面積は2万3千㎡になるそうです。

まず、王副館長より、①大学図書館として果たすべき機能について、②図書館と学部等との関係について、③全学的プロジェクトの立案について、④受入図書を選定について、⑤図書の貸出について、⑥図書館間の連携について、⑦図書館の地域開放について、⑧

情報発信について…といったお話を伺いました。

その中で特に印象に残ったのは、図書館の地域開放に関するお話でした。北京師範大学においても図書館の公開は大きな課題になっていたそうなのですが、同学の場合、地域という枠にとらわれるのではなく、身分証を持っている人であれば誰にでも図書館カードを発行し、図書館カードを持っている人であれば誰にでも図書館のサービスを提供する、という方針に至ったのだそうです。

### 2. 華東師範大学

華東師範大学は、1951年に上海周辺の国立大学を統合して設立された、教育系の総合大学です。北京師範大学と同じように、現在では15学部を擁しており、教員養成に重点をおきつつも、研究タイプの総合大学に移行しつつあります。とても広く、また水と緑が豊かな、大変美しいキャンパスです。

今回の訪問では、国際交流処の黄理平処長と后勤管理处の洪鎮青総務部長に大学全体のお話を、また張静波副館長に図書館のお話を伺った後、中央図書館の新館を見学させていただきました。



中央図書館は、1951年に建てられた旧館と、1989年に建てられた新館の2つの建物から構成されていて、これに2分館を加えた総面積は2万9千㎡になるそうです。

まず、張副館長より、①図書館と学部等の関係について、②蔵書目録の電子化について、③受入図書の選定について、④資料の充実度について、⑤図書の貸出について、⑥図書館間の連携について、⑦図書館の地域開放について、⑧情報発信について…といったお話を伺いました。

その中で特に印象に残ったのは、図書館間の連携に関するお話でした。中国には「CALIS」という大学図書館間の連携システムがあり、これによってOPACの共同作成やILLといった全国的な事業が行われているのだそうです。また、上海地域の図書館間やOCLCなど、独自の連携強化にも努めているそうです。しかし、その一方で、大学として必要な資料は図書館及び学部資料室の予算でほぼすべて購入することができ、また購入できるよう予算措置されているので、本学のように学内で所蔵していない資料を他の図書館から日常的に取り寄せるといった状況は、とても考えられない…と驚かされていました。

最後に、今回の訪問で強い感銘を受けた事柄を、2つ紹介します。

1つ目は、訪問した4大学いずれの図書館も、民間

からの寄付によって建てられたということです。建物ばかりでなく、本学とは比較にならないほど充実していた設備の一部が、卒業生や民間からの寄付によって成り立っていると聞いて、大変羨ましく思いました。

2つ目は、どの図書館も、ほとんど館内全域に暖房が設置されていなかったということです。上海はまだまだしも、北海道をしのぐ厳寒の北京まで…にもかかわらず、ぎっしりと席を埋め、厚着をして勉強に打ちこむ学生達の姿には、ただただ胸が打たれました。

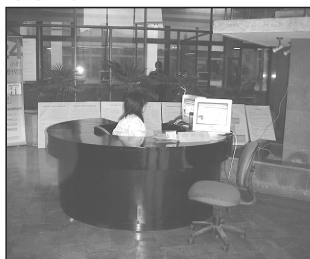
以上、とても有意義な見聞をさせていただきました。ありがとうございました。

(写真：筆者撮影)

(こいけ まさとし 附属図書館情報管理課システム管理係長)

## 中国訪問で見たもの聞いたこと…

(華東師範大学)



←レファレンスデスク。図書館と資料の利用に関する総合案内窓口ということで、入館ゲートを入った正面に設けられていました。担当者は1名、またデスク上には担当者名が掲げられていて、責任重大…という印象を受けました。



←パソコンルーム。300台のパソコンが、2つの部屋に配備されていて、オンラインによる情報検索を行うことができます。そのうちの1部屋は、卒業生からの寄付によって作られたというから驚きです。



←寄贈図書室。国内外の団体・個人から寄贈された図書や雑誌が、寄贈者別に配架されていました。その中には、在学中に亡くなった日本人留学生の遺族より図書の寄贈を受けて設けられたという記念文庫がありました。

(番外編①)



←上海から北京へ空路移動した際に供された機内食です。主なメニューは…ザーサイ、乾し梅、乾し魚、乾し豆腐、そしてパンにデザート。これにジュース類がつけました。

(北京師範大学)



←OPACコーナー。入館ゲートを入ってすぐの場所に設けられていました。ここには、学内の所蔵資料を検索するための専用端末が11台設置されているそうです。



←京師文庫。博士・修士論文8000冊をはじめ、北京師範大学の研究成果が収められています。学内の研究者に随時、図書館への研究成果の提供を依頼し、これに応じてくださった方の論文等をここに保管しているそうです。



←自習室。各階の踊り場に設けられていました。飲み物やかばん類の持ち込みが自由とはいえ、厳しい寒さにもかかわらず勉強に励む姿には大変驚かされました。もっとも大部分の閲覧室にも暖房は入っていないのですが…。

(番外編②)



←万里の長城にて。北京市内から車で1時間半ほどの場所にあります。「大変寒いので、持ってきた服を全部着込むぐらいの重装備で出かけてください」と言われたため、このような出で立ちになってしまいました。

## 教官寄贈図書リスト

平成14年11月から平成15年12月までに本学教官の方々から寄贈していただきました著書・編書を紹介します。ご恵贈ありがとうございました。リスト上の配列は寄贈者の五十音順で、所属部局は原則として最新のものです。

### 秋元 馨 (工学研究院)

- 『現代建築のコンテクスチュアリズム入門:環境の中の建築/環境をつくる建築』秋元馨著(彰国社, 2003)  
『かながわ建築ガイド』秋元馨著(神奈川県建築士会, 2002)  
『対話による建築・まち育て:参加と意味のデザイン』秋元馨執筆(学芸出版社, 2003)

### 小豆 島明 (工学研究院)

- 『Metal forming science and practice: a state-of-the-art volume in honour of Professor J. A. Schey's 80th birthday』小豆島明執筆(Elsevier Science, 2002)

### 安藤 孝敏 (教育人間科学部)

- 『新社会老年学: シニアライフのゆくえ』安藤孝敏著(ワールドプランニング, 2003)

### 飯島 渉 (経済学部)・阪谷綾子

- 『倜儻不羈人: 追悼・阪谷芳直』飯島渉執筆(阪谷直人, 2003)

### 石川 雄一 (留学生センター)

- 『海水機器の腐食: 損傷とその対策』石川雄一著(科学図書出版, 2002)

### 石原 修 (工学研究院)

- 『現代物理科学: フェムトからハップルの世界まで』石原修著(共立出版, 2001)

### 伊藤 雅道 (環境情報研究院)

- 『森を支える土壌動物』伊藤雅道著(林業科学技術振興研究所, 1996)  
『Sabah Parks nature journal: an occasional natural history journal; v. 5』伊藤雅道執筆(Sabah Parks, 2002)

### 大門 正克 (国際社会科学研究所)

- 『明治・大正の農村』大門正克著(岩波書店, 1992)

### 大崎平八郎 (経済学部・名誉教授)

- 『大崎平八郎全仕事: 一知識人の55年間の軌跡』大崎平八郎著(大崎会, 2002)

### 大野かおる (工学研究院)

- 『コンピュータ・シミュレーションによる物質科学: 分子動力学とモンテカルロ法』大野かおる著(共立出版, 1996)  
『Clusters and nanomaterials: theory and experiment』大野かおる著(Springer, 2002)  
『Computational materials science: from ab initio to Monte Carlo methods』大野かおる著(Springer, 1999)

### 岡田 依里 (国際社会科学研究所)

- 『知財戦略経営: イノベーションが生み出す企業価値』岡田依里著(日本経済新聞社, 2003)

### 小川誉子美 (留学生センター)

- 『敬語を中心とした対人関係の表現: 待遇表現』小川誉子美著(スリーエーネットワーク, 2003)

### 片平 正人 (環境情報研究院)

- 『NMR分光法: 原理から応用まで』片平正人執筆(学会出版センター, 2003)

### 金井 淑子 (教育人間科学部)

- 『「ジェンダー」概念の射程: なぜいまジェンダー・パッシングなのか?を考える手がかりとして』金井淑子著(神奈川県立かながわ女性センター, 2003)

### 金子佳代子 (教育人間科学部)

- 『食をコーディネートする』金子佳代子著(丸善, 2003)  
『生活を創るライフスキル: 生活経営論』金子佳代子著(建帛社, 2002)  
『ドクターマッスルのスポーツ栄養学: 正しく食べて、楽しく勝つ!』金子佳代子監修(群羊社, 2000)  
『効果的な栄養教育・栄養指導の進め方』金子佳代子執筆(ぎょうせい, 2001)

- 『栄養学各論』金子佳代子執筆(講談社, 1998)

### Carlos A. Aquino Rodríguez (国際社会科学研究所・客員研究員)

- 『Relaciones Peru-Japon: diplomacia, inmigracion, economia y politica』Carlos A. Aquino Rodríguez 著(Grafica Biblos, 1994)  
『Introducción a la economía asiática: el desarrollo económico del Asia Oriental y lecciones para el Perú』Carlos A. Aquino Rodríguez 著(Universidad Nacional Mayor de San Marcos, 2000)

### 小池 文人 (環境情報研究院)

- 『Arthropods of tropical forests: spatio-temporal dynamics and resource use in the canopy』小池文人執筆(Cambridge University Press, 2003)

### 河野 隆二 (工学研究院)

- 『Software defined radio: origins, drivers and international perspectives』河野隆二著(John Wiley & Sons, 2002)  
『Wireless communications in the 21st century』河野隆二著(IEEE Pr., 2002)

### 小林 重敬 (工学研究院)

- 『条例による総合的まちづくり』小林重敬著 (学芸出版社, 2002)
- 佐々木瑞枝** (留学生センター)  
『外国語としての日本語: その教え方・学び方』佐々木瑞枝著 (講談社, 1994)  
『日本語ってどんな言葉?』佐々木瑞枝著 (筑摩書房, 1996)  
『日本語教育日記: 指針となる現場からのレポート』佐々木瑞枝著 (アルク, 1992)
- 薩本 弥生** (教育人間科学部)  
『快適ライフを科学する』薩本弥生著 (丸善, 2003)
- 佐土原 聡** (環境情報研究院)  
『都市環境学』佐土原聡執筆 (森北出版, 2003)
- 白鳥 正樹** (工学研究院)  
『実験計画法による非線形問題の最適化: 統計的設計支援システム』白鳥正樹著 (朝倉書店, 1998)
- 杉山久仁子** (教育人間科学部)  
『エコライフを実践する』杉山久仁子著 (丸善, 2003)
- 鈴木 敏子** (教育人間科学部)  
『初等家庭科教育学』鈴木敏子執筆 (協同出版, 2002)  
『ビヨンド・ジェンダー: 仕事と家族の新しい政治学』鈴木敏子訳 (青木書店, 2003)  
『転換期の家族: ジェンダー・家族・開発』鈴木敏子訳 (産業統計研究社, 1995)  
『女性労働: 20世紀から21世紀へ』鈴木敏子執筆 (青木書店, 2002)
- 関口 欣也** (工学研究院・名誉教授)  
『多摩丘陵の農家1955年細山: 日本民家園の発端』関口欣也著 (川崎市立日本民家園, 2003)  
『東洋建築史論叢案: 1976-2002』関口欣也著 (関口欣也, 2003)
- 高木純一郎** (工学研究院)  
『精密機械加工の原理』高木純一郎著 (工業調査会, 2002)
- 竹田 陽子** (環境情報研究院)  
『プロダクト・リアライゼーション戦略: 3次元情報技術が製品開発組織に与える影響』竹田陽子著 (白桃書房, 2000)
- 辰巳 敬** (工学研究院)  
『グリーンケミストリー: 持続的社会的のための化学』辰巳敬執筆 (講談社, 2001)  
『機能性ゼオライトの合成と応用』辰巳敬執筆 (シーエムシー, 1999)  
『ゼオライトの科学と工学』辰巳敬執筆 (講談社, 1999)  
『化学ってそういうこと!: 夢が広がる分子の世界』辰巳敬執筆 (化学同人, 2003)  
『Chemistry of microporous crystals: proceedings of the International Symposium on Chemistry of Microporous Crystals, Tokyo, June 26-29, 1990; : Japan』辰巳敬執筆 (Elsevier, 1991)
- 谷生 重晴** (教育人間科学部)  
『水素エネルギー協会大会予稿集; 第22回』谷生重晴執筆 ([水素エネルギー協会], 2002)
- 垂水 千恵** (留学生センター)  
『台湾の「大東亜戦争」: 文学・メディア・文化』垂水千恵著 (東京大学出版会, 2002)
- 長尾 智晴** (環境情報研究院)  
『最適化アルゴリズム』長尾智晴著 (昭晃堂, 2000)  
『ジェネティックアルゴリズム』長尾智晴著 (昭晃堂, 1993)  
『C言語による画像処理入門』長尾智晴著 (昭晃堂, 2000)  
『進化的画像処理』長尾智晴著 (昭晃堂, 2002)  
『画像の処理と認識』長尾智晴著 (昭晃堂, 1992)
- 中村 静治** (経営学部・元教官)  
『日本自動車工業発達史論』中村静治著 (勁草書房, 1953)  
『日本の自動車工業』中村静治著 (日本評論新社, 1957)
- 中村 文彦** (環境情報研究院)  
『都市交通計画』中村文彦執筆 (技報堂出版, 2003)
- 西谷 剛** (国際社会科学研究所)  
『実定行政計画法: プランニングと法』西谷剛著 (有斐閣, 2003)
- 藤井 忠** (経営学部・名誉教授)  
『森岡貞香作品研究』藤井忠著 (砂子屋書房, 2001)
- 堀 雅宏** (環境情報研究院)・氷見康二  
『日本の大気汚染の歴史; 1』堀雅宏著 (公害健康被害補償予防協会, 2000)  
『日本の大気汚染の歴史; 2』堀雅宏著 (公害健康被害補償予防協会, 2000)  
『日本の大気汚染の歴史; 3』堀雅宏著 (公害健康被害補償予防協会, 2000)
- 堀内かおる** (教育人間科学部)  
『子どもの生活世界へのまなざし』堀内かおる著 (丸善, 2003)
- 前川 卓** (工学研究院)  
『Shape interrogation for Computer Aided Design and Manufacturing』前川卓著 (Springer-Verlag, 2002)
- 松元 宏** (経済学部)  
『日野商人山中兵右衛門家文書目録: 御殿場小田原沼津』松元宏著 (御殿場市立図書館, 2003)
- 宮崎かすみ** (教育人間科学部)  
『ラドヤード・キプリング: 作品と批評』宮崎かすみ執筆 (松柏社, 2003)

横田 尚美 (教育人間科学部・元非常勤講師)

『ファッションを考える』横田尚美著 (丸善, 2003)

吉田 鋼市 (工学研究院)

『赤レンガ倉庫保存・活用工事報告書;活用編』吉田鋼市監修 (横浜市港湾局臨海事業部事業管理課, 2003)

『赤レンガ倉庫保存・活用工事報告書;保存編』吉田鋼市監修 (横浜市港湾局臨海事業部事業管理課, 2003)

吉原 健一 (工学研究院・名誉教授)

『Recent topics on random processes and fields』吉原健一著 (Sanseido, 2003)

## 平成14年度購入主要コレクション等

### 1. 「移行経済」学位論文集成

American Doctoral Theses: Transition Economies, 1982-2002.  
80 items.

アメリカ・カナダの学位論文の中から主に東欧・東アジアの国々の移行経済の構造、制度変化などについての論文を抽出して集成したもの。

[中央図書館1階書庫 332.08 || TR]

### 2. 石川一郎文書 (東京大学経済学部図書館所蔵)

Ⅲ. 関係機関・団体・企業 編

Ⅳ. 経済団体連合会・日本産業協議会 編

マイクロフィルム版 (66リール)

戦中戦後において日本財界の重鎮であり、初代の経団連会長を務めた石川一郎が関係した経済団体の会議録、政府機関や諸団体、企業などとの対応録を集成したもの。昨年度購入した同文書の補填。

[中央図書館1階マイクロ資料室 289.1 || IS]

### 3. ドイツ連邦共和国議会議事録集成

Verhandlungen des deutschen Bundestages : Stenographische Berichte ;

1-193 (1949-1998) 193 vols.

Verhandlungen des deutschen Bundestages : Anlagen zu den Stenographische Berichte ;

1-620 (1949-1998) 620 vols.

Regisiter zu den Verhandlungen des deutschen Bundestages und den Anlagen ;

1-13 (1949-1998) 42 vols.

第二次大戦後のドイツ連邦共和国の創設期から1998年までの議会議事録を速記録とその附属資料(議案、報告書等)及び索引に分けて集成したもの。

[中央図書館1階保存書庫 314.34 || VE]

## 図書館に関する会議

(平成15年9月1日～平成15年12月31日)

### 運営委員会

平成15年度第3回 (平成15年9月19日)

<審議事項>

- 1) 平成15年度附属図書館資料費に係る学長裁量経費の扱いについて
- 2) 業務用電子計算機システムの仕様策定委員及び技術審査職員について
- 3) 平成16年度電子ジャーナルについて

平成15年度第4回 (平成15年11月21日)

<審議事項>

- 1) 横浜国立大学附属図書館規則等の一部改正につ

いて

- 2) 横浜市内大学図書館コンソーシアムについて

### 図書館資料選定小委員会

平成15年度第2回 (平成15年10月10日)

<審議事項>

- 1) 平成15年度教育改善推進費 (学長裁量経費) の使途について
- 2) 平成15年度研究図書収書計画の策定について
- 3) 平成16年度自然科学系外国雑誌の購入について

## 主要日誌

(平成15年9月1日～平成15年12月31日)

- 9.9 神奈川県図書館協会大学図書館委員会（横浜国立大学）
- 11.12 関東地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議（宇都宮大学）
- 11.27-28 国立大学図書館協議会シンポジウム（一橋大学）
- 12.18 神奈川県図書館協会大学図書館委員会（関東学院大学）

## 職員の動向

（平成15年9月1日～平成15年12月31日）

### 転入

（10月1日付）

情報管理課総務係長

（宇宙科学研究所管理部契約課契約第一係長）

渡部 昭彦

### 転出

（10月1日付）

総務部企画課国際学術係長

（情報管理課総務係長）

伊藤 陽子

## 図書館からのお知らせ

### 特別室（メディアホール、情報ラウンジ）の利用について

平成15年4月より、中央図書館では以下の新たな施設利用のサービスを始めました。利用のルールをご理解の上、ご活用ください。

### ■メディアホール（1階）

階段状のホールです。通常は、開放されたくつろぎの空間として、自由にご利用ください。また、講演会等の会場として利用することも可能です（本学教職員のみ）。講演会場等として利用する際には申し込みが必要となります。詳細は、ホームページをご覧ください。

#### 【メディアホール使用貸出物品】

- ・音響設備一式（マイク3本、ピンマイク1本、アンプ、スピーカー）
- ・メディアホール専用スクリーン（メディアホール造り付け、操作リモコン付）
- ・移動式個人机（簡易型）
- ・演台

### ■情報ラウンジ（1階）

カフェに隣接しています。通常は、椅子と机が設置されていますので、自由にご利用ください。カフェの飲食物を持ち込むこともできます。また、卒業発表等の展示場として利用することも可能です。展示場として利用する際には申し込みが必要となります。詳細は、ホームページをご覧ください。

#### 【情報ラウンジ使用貸出物品】

- ・展示用パネル（脚付き）
- ・組み立て式机および椅子
- ・ピクチャーレーンおよびフック

詳細につきましては、中央図書館メインカウンターにお尋ねください。